

りす俱樂部

2018 年
4月号
第260号



古民家と桜

広まりつつある古民家再生の動きが、歴史的文化的価値を理解した慈しみのあるものならば、喜ばしい。しかし、多くは、食事処、コーヒーショップ、土産物屋に改築され、植栽は、伐採されて駐車場に変身している。嘆かわしく悲しい。古民家に最も似つかわしい桜が、昨日、満開になった。

弁護士 福井大海

戸籍法における死亡届出資格者拡充へ

NPOりすシステム
行政書士 黒澤史津乃

りすシステムの死後事務において切実な課題である「誰が死亡届出人になるか」という問題が、戸籍法改正という、りすシステムにとって最高の形で決着する公算が大きくなりました。りすシステムの活動が、日本の法律そのものを変えようとしているのです。

戸籍法第87条には、死亡届出人になる義務のある人（届出義務者）と、届出人になることができる人（届出資格者）が厳格に定められています。死亡届とは、人間の終期を決定づけ、相続の開始原因になるのですから、誰でも簡単に届出できてしまったら、社会的混乱を招く恐れがあります。

一方で、親族に頼らない、迷惑をかけたくないという意識の高いりすシステム利用者の皆さんにとって、りすシステムが死亡届出人になれない現状の法制度では、もし他に死亡届出人に該当する人がいなければ、やむを得ず親族を探し出して頼らざるを得ない、それでも誰もいなければ、役所に緊急避難的対応を迫らなければなりません。

そこでりすシステムとしては、具体的な対策を求めて法務省民事局に直談判しに行ったところ、事態は思わぬ方向へ急展開しました。

本年（2018年）2月9日、法務大臣の諮問機関として法律改正の原案となる改正要綱を取りまとめる法制審議会の第4回戸籍法部会において、私がりすシステムの法務担当として「死亡届出義務者および資格者に係る事情説明と要望」というタイトルで、参考人として審議会で説明する機会を与えられたのです。

その結果、1ヶ月後の第5回会議では「戸籍法の改正に関する中間試案のたたき台」の中で、前回会議で私が要望した通り、死亡届出資格者として任意後見受任者に加え、死後事務受任者についても検討していくと、明確に記されていました。

戸籍法の改正は2019年通常国会に提出されるそうです。私たちりすシステムの活動が変革の力となって日本の法律を、そして社会の意識を変えていく、そんな様子を戸籍法改正に重ねて見守っていこうではありませんか。

（りすシステムが法制審議会戸籍法部会第4回会議で参考人として意見陳述をした際の公式の議事録は、近日中に公表されるということです。りす倶楽部別冊として皆さんにお届けする予定です）

連載コラム

暮らしの中の法律〈第七回〉

弁護士 長谷川 範子

後見に関するお話

先日、私の元依頼者Aさんの訃報が届きました。約半年前にAさんのお姉さんの自筆証書遺言の検認手続きをお手伝いしていたことから、あまりに急な出来事に驚きつつ、それ以上に感心したのはAさんが自筆証書遺言を入れたファイルに大きく「横浜家裁で検認を受けること。その際には長谷川弁護士に依頼すること」と書かれ、当事務所の地図まで入れておられていたことでした。「さすがAさん、完璧な終活！」と事務所職員一同で生前のAさんを思い浮かべご冥福をお祈りしました。

Aさんは、お姉さんの遺言書の検認手続きを見ていらしたので、遺言書がどのようなに扱われるか具体的なイメージが明確で、

自身の遺言書をどうしてほしいのかも的確に遺すことが出来たのだと思います。具体的なイメージを持つて物事に臨むことは将来への不安を減らし、物心ともに自由な活動範囲を広めるものと思われませんが、Aさんも遺言書の扱いについて安心して旅立たれたことでしょう。

さて、何事にも具体的なイメージを持つことが大切ですが、法律の制度は難しく、特にりすシステム利用者の皆さんにとつて関わりの深い「任意後見契約」は、具体的にイメージしにくいもののひとつではないでしょうか。

今月は任意後見制度も含めた「後見制度」について、皆さんの頭の中の霧が晴れる手助けとなるよう、Q&A形式でエピソードを交えながらご説明したいと思います。

Q1 成年後見制度とはどんな制度ですか？

成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などによつて物事を判断する能力が十分でない方（ここでは「本人」といいます）について、「本人」の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、「本人」を法的に支援する制度です。

成年後見制度には、既に判断力が衰えてしまつている人が利用できる法定後見制度と、元気な時に将来の認知症等への備えとして事前に契約しておく任意後見制度の2種類があり、法定後見制度には後見、保佐、補助の3つの種類があります。

Q2 後見人等の選任が必要なきときは、どのような場合ですか？

例えば、認知症の「本人」の夫が遺言書を残さずに死亡し、「本人」がほかの法定相続人とともに遺産分割協議をする必要が生じた場合、認知症の「本人」が自宅を売却する必要が生じた場合のほか、施設入居

などで多額の資金を振込む必要があるのに、銀行手続きができなくなってしまった場合などです。

Q3 法定後見制度と任意後見制度の違いは何ですか？

法定後見制度は家庭裁判所が成年後見人を選任しますが、任意後見制度は契約による制度で、本人に判断能力があるうちに、将来、判断能力が不十分な状態等になったときに備えて任意後見受任者を選び、公正証書による任意後見契約を結んでおくものです。

本人の判断能力が不十分になったとき、本人、任意後見受任者等が、家庭裁判所が任意後見監督人選任の申立てをして、家庭裁判所で任意後見監督人が選任されたときに、その契約の効力が生じます。

任意後見契約は、任意後見人として本人が信頼する者（法人を含む）を指定することができ、内容も自由に定めることができますので、家庭裁判所主導の法定後見とは異なり、まさにオーダーメイドの後見制度と

いうことができるでしょう。

りすシステムではご存知のとおり、生前契約三点セットの一つとして任意後見契約が組み込まれているので、将来の判断力低下への備えができていますといえます。

法定後見では、どうしても本人の意思よりも財産の保全を重視する傾向がありますが、任意後見では事前に任意後見受任者に依頼したいことを決めておけば、自らが選択したライフスタイルを実現できます。



法定後見制度についても、実はりすシステムが法定後見人として選任された事例も多くあります。利用者の依頼により、契約能力の問題でりすシステムと直接契約できなかったご家族のために法定後見人の選任申立てを手伝い、りすシステムが成年後見人、保佐人に選任されている例が、既に18件もあるとのこと。

Q4 後見人等に就いてもらうと、費用はどのくらい掛かるのですか？

後見人等に支払うべき報酬額は、任意後見人の場合は事前の契約の中であらかじめ決めておいた金額です。

一方、法定後見制度の後見人等の場合は、「本人」の財産額や実際に行った後見事務の手間などに応じて家庭裁判所が決定し、専門職が後見人等に選任された場合、「本人」の資産によりその額は変動しますが、一般的には月額2〜3万円程度の報酬が必要となるようです。

また、後見人等への報酬に加えて、任意後見制度の場合は任意後見監督人報酬が、法定後見制度の場合は後見監督人報酬もしくは後見制度支援信託設定のための報酬が別途必要となり、いずれも家庭裁判所がその報酬金額を決定します。



Q5 後見人等はどうなことをする義務があるのですか？

選任されたらまず「本人」の資産、収入、負債としてどのようなものがあるかなどを調査して財産目録を作成し、「本人」が生活するために必要な支出から算出した年間収支予定表とともに、家庭裁判所に提出します。

その後、「本人」の心身の状態や生活状況に配慮しながら、財産を適正に管理し、必要な代理事務を行います。



Q6 「本人」が死亡した後も成年後見人にお葬式や納骨、死後の片づけまでやってもらうことはできますか？

「本人」が死亡すると同時に後見人の任務も終了するので、原則としてはできません。

例外的に、後見人等がやむを得ず葬儀な

どを行う必要がある場合には、事務管理（民法697条）として、支払いをすることができる場合があります。

その他、例えば「本人」の死亡直前の療養費が未払いの場合にも例外的に後見人が応急の必要があると判断した場合、後見終了時の緊急処分義務（民法874条、654条）を根拠に支払うことができる場合もあります。

また、近年の法改正で、成年後見人は、死後事務の一部を後見人の権限として行えるようになりました（民法873条の2）。ただし、できることは限定されており、個々の相続財産の保存行為、弁済期が到来した債務の弁済、火葬又は埋葬に関する契約の締結等のみです。また葬儀に関する契約の締結などについては、家庭裁判所の許可を得る必要があるとされました。

このように後見人等ができる死後事務には法的な限界がありますが、りすシステムの利用者のように元気な時に死後事務委任契約まで済ませておけば、生前に自身がいかに描いたとおりの死後事務を実現してもらえらることになります。

後見制度は死亡により終了するのが原則ですが、死後事務委任契約は、委任者の死亡により死後事務の契約内容がスタートします。

Q7 法定後見制度での監督人とは何ですか？

後見監督人とは後見人の事務を監督する者です（民法851条）。

家庭裁判所が必要と認めるときは、後見人等の請求により又は職権で選任されます（同849条）。多くの場合、弁護士など専門職が裁判所から選任されます。

Q8 裁判所が後見監督人を選任する必要がある場合とは、どのような場合でしょうか？

最近、私が成年後見監督人に選任されたケースです。

認知症のAさん（85歳・女性）が被後見人で、成年後見人は60歳になる息子Bさん。

Aさんは、Bさんと同居している建物の

敷地である自宅の土地を所有しています。

Aさんの収入は年金のみでトラブル要因もなく、弁護士などの専門職が後見人として就任する必要は見当たらず、これまでBさんが後見人として、必要な事務を担当していました。

このような状態で安定していたAさんでしたが、ある日Bさんの息子、つまりAさんの孫Cさんから、「Aさん名義の土地に建物を建てるのに、銀行から建築資金を借り入れるため、建物と同時に建物の敷地であるAさんの土地にも、共同担保として抵当権を設定させてもらいたい」という希望が出てきました。

Bさんとしては息子Cさんが自宅の敷地内に自宅を建てることに賛成ですし、Aさんに判断能力があればおそらくは賛成してくれたはずですが。

ところが、成年後見制度のもとでは、後見人は被後見人の財産について原則として現状維持を目指し、経済的に不利益になることはできないことになっています。すなわちCさんの希望に沿って土地上に建物を

建てれば土地の価値は下がりますし、抵当権を設定することは明らかな経済的負担を発生させる行為だからです。

この件についてBさんが家庭裁判所に相談したところ、家裁は公平な第三者として後見監督人を選任し、後見監督人に事情を調査させ、後見監督人が後見人に代わって、Cさんの希望する建物建築及び抵当権設定に同意するかどうかを報告させることとしたのです。

後見監督人はAさんの経済状況、生活状況を調査し、CさんがAさんの土地上に建物を建て、その住宅ローンの抵当権をAさんの土地に設定することが相当かどうか検討した結果、同意することが相当との結論となりました。

その結果、無事、CさんはAさんとBさんの自宅の隣に自分の建物を建てることができ、その後、後見監督人はその職を解かれました。

本件における後見監督人の役割は、右のような法律手続きのためでしたので、この問題が解決した後は業務終了となったということです。

成年後見人は、被後見人の財産や権利を守るため、日々の財産管理・身上監護の業務を行っています。時として被後見人と後見人の利益が相反してしまう場合や、後見人を含めた親族同士にもめごとが発生し、後見人の身上監護・財産管理業務が円滑に進まない場合、あるいは被後見人の財産が膨大な場合などには、後見監督人が選任されることが多くなります。

Q9 法定後見制度での後見監督人と、任意後見制度での任意後見監督人とは別のものでしょうか？

後見監督人という言葉を見て、「りすシステムとの任意後見契約締結の時に『任意後見監督人』という言葉聞いたけど…」と、ピンと来た方もいらっしゃるかもしれません。

後見監督人と任意後見監督人は別のもです。

任意後見契約は既にQ3でみた通り、本人が将来、判断能力が低下した場合に備えて、自身で後見人を指定しておくものです。

が、実際に判断能力が低下した場合には、家庭裁判所が任意後見監督人を選任し、「本人」・任意後見人・任意後見監督人の三者がそろったところで、契約に定めた内容の任意後見がスタートします。

任意後見監督人の職務は、任意後見人の仕事に適正になされているか否かのチェックです。家庭裁判所も任意後見監督人の報告を受けて、任意後見人の仕事を間接的にチェックする仕組みになっています。

法定後見制度では、家庭裁判所が必要と判断したときにのみ監督人が選任されるのに対し、任意後見制度では、「本人」の判断力が低下して契約の効力を発生させるときには、必ず家庭裁判所が弁護士等の専門職を任意後見監督人として選任します。

制度についても、年に1度、後見人等から家庭裁判所への財産及び収支状況の報告だけの法定後見制度とは違い、任意後見制度の場合には、任意後見人から任意後見監督人への報告の頻度を事前の契約で自由に定めることができるので、りすシステムの任意後見契約では、より厳しく3ヶ月に1度としています。

さらに法定後見制度では、多くの案件を1度に監督する家庭裁判所による直接のチェックですが、任意後見制度では、特定の案件だけのために選任された任意後見監督人が、3ヶ月に1度という頻度で事細かに財産及び収支状況をチェックし、さらに任意後見監督人が家庭裁判所に報告をして2重にチェックを受けるのですから、監督としては、任意後見制度の方がおのずと厳しいものになります。

近年、成年後見人の横領事件など、制度に不信感を抱かせるニュースも耳にしますが、任意後見制度では、そのような不正が起これにくい仕組みを事前の契約であらかじめ設定することにより、「本人」の財産が守られることとなるのです。



いつ、判断能力低下による後見状態となるか分かりません。そうなった時、ご自身のキャンパスに描いたとおりのQOL（生活の質）の確保や財産管理等を実施してもらうために、制度を上手に使っていただきたいと思います。

なんでも談話室だより

りすシステム 生前契約スーパーバイザー

黒澤淑子

3月19日(月) 東日本支部

「最近、手の込んだお料理を作りますか？」の問いかけに、「ほとんど作らないわね」「野菜の煮物」とのお答え。11時に9名のお顔がそろい、ほとんどの方が頷く。「まず野菜を洗うでしょ、皮をむくでしょ、切るでしょ、そして味付け。火加減に注意。面倒だからちよつと多めに仕込んでやう。やっぱり大変なのよ」とのこと。軽度認知症チェック「実践編」の料理に関する問いだが、「味付けが変わった」「お鍋を焦がすようになった」と続く。どこからか「だって料理らしきもの、やらないもん」と聞こえてきた。他にも、運動や外出、旅行といった問いがあるが、すべて「適度」「適切」とある。

気がつけばお昼。適度なお昼をいただく。「認知症が心配なら、施設へ入る?」「元気なうちに入りたいよね!」「介護度によって入居できる所がいい」。介護保険料を払っていても介護度が必要。自室で看取りが出来る施設が人気を集める。

サバンの象さんのように身を隠せるとしたら?えーっと、考える時間が必要です。

セコム・ホームセキュリティのご案内

日頃から健康や防犯に気を付けていても、突然何が起こるかわかりません。りすシステムが推奨する「セコム・ホームセキュリティ」は、24時間365日休みなく、あなたの「もしもの時」に対処します。救急通報、センサーによる安否見守りサービス・防犯・火災・非常通報等に対応し、電話の応答がない場合はセコム株式会社の緊急対応員がただちに駆けつけます。異常があった場合には119番と同時にりすシステムに連絡が入ります。いのちと暮らしを守るため「セコム・ホームセキュリティ」の設置をお勧めします。



セコム説明会のご案内

東京

【日時】 5月15日(火) 12:30～13:00
16:00～16:30
5月21日(月) 15:00～15:30
6月15日(金) 12:30～13:00
16:00～16:30
6月19日(火) 15:00～15:30

【会場】 NPOりすシステム 北の丸ガラスゲート1F
東京都千代田区九段北1-4-5

【最寄駅】 東京メトロ半蔵門線・東西線・都営新宿線
「九段下」駅(3・5・7番出口) 徒歩5分

【日時】 5月12日(土) 10:00～11:00
6月12日(火) 10:00～11:00

【会場】 りすセンター新木場 東京都江東区新木場4-6-13

【最寄駅】 東京メトロ有楽町線・JR京葉線・高速りんかい線
「新木場」駅よりバス8分

※新木場駅から送迎の用意があります

※参加希望の方はご連絡ください

名古屋

【日時】 5月10日(木) 13:00～14:00

【会場】 NPOりすシステム中部日本支部

名古屋市中村区名駅3-13-28 名駅セブンスタービル1211

【最寄駅】 JR「名古屋」駅徒歩5分

※参加希望の方はご連絡ください

大阪

【日時】 6月23日(土) 14:15～15:00

【会場】 NPOりすシステム西日本支部

大阪市北区東天満1-10-14 MF南森町2ビル4F

【最寄駅】 地下鉄谷町線/堺筋線「南森町」駅徒歩3分

JR東西線「大阪天満」駅徒歩1分

*談話サロン終了後、セコム担当者が機器の操作方法、契約時や月々の費用、工事について等の説明をいたします。参加希望の方はご連絡ください。

説明会参加お申込みは下記までご連絡ください

りすシステム ☎ 0120-889-443



急病時などは、ペンダント型の「マイドクター」を握るだけで、救急信号がセコムに伝わります。



室内の人の動きをセンサーで確認。一定時間動きが確認できなければ、異常事態が発生したと判断し、セコムが対応します。

私たちが
担当します！

坂本 はるか
(さかもとはるか)
アシスタント

■出身地：
島根県隠岐の島
■趣味：カラオケ
ピアノ、旅行
■性格：明るい



土屋 美幸 (つちやみゆき)

■出身地：埼玉県朝霞市
■趣味：季節の植物めぐり
ヨガ、森林浴
■性格：マイペース
素直



ご自宅でお困りごとやご不安はございませんか？セコム・ホームセキュリティで皆様の安心・安全な暮らしのサポートをいたします。使い方はとっても簡単！お気軽にご相談ください。

セコム・メディカルクラブ

耳より
情報！

セコムでは契約された方への生活安心サービスとして「セコム・メディカルクラブ」を設けています。24時間365日豊富な経験を持つ看護士が対応する電話健康相談サービスや、医療機関情報の検索サービスなど、健康に役立つ情報を契約者の方々に提供しています。わざわざ病院に行くほどではないけれど、健康上のちょっとした不安があるときなどこのサービスをご利用ください！

《お知らせ》

どの支部の行事でも参加できます。
事前に連絡の上、ご参加ください。

東日本支部 暮らしのよろず相談会

▽日時 5月20日(日) 10時～16時
6月20日(水) 10時～16時

▽会場 北の丸ガラスゲート1階

▽担当

森 妙子(消費生活アドバイザー)

生前契約スーパーバイザー)

松島如戒(不動産コンサルタント)

杉山 歩(NPOりすシステム代表理事)

末藤康宏(りすネット不動産事業部)

宅地建物取引士

福祉住環境コーディネーター)

▽締切 1週間前までにお申込みください

東日本支部 法律相談

▽日時 5月24日(木) 13時～15時
6月14日(木) 13時～15時

▽会場 北の丸ガラスゲート5階

▽担当 長谷川範子弁護士

▽締切 1週間前までにお申込みください



東日本支部 りすセンター見学会

▽日時 5月12日(土) 13時30分～
6月12日(火) 13時30分～

▽会場 りすセンター新木場

▽締切 前日までにお申込みください

※新木場駅から送迎の用意があります

※Ai(死亡時画像診断)装置の見学もできます

西日本支部 談話サロン

▽日時 5月23日(水) 12時～14時
6月23日(土) 12時～14時

▽会場 西日本支部事務所

▽参加費 500円

(軽食をご用意します)

▽締切 3日前までに

お申込み下さい



西日本支部 法律相談

▽日時 5月16日(水) 13時～15時
6月20日(水) 13時～15時

▽会場 西日本支部事務所

▽締切 1週間前までにお申込みください

各支部例会

※お申込みの方に詳細を連絡します

北海道支部 例会

ホテルでランチをご一緒いたしましょう

▽日時 5月7日(月)

▽集合 ニューオータニイン札幌ロビー

▽参加費 3500円 ▽締切 5月1日(火)

※りすシステム代表杉山も参加します

中部日本支部 例会

津島神社参拝と天王川公園で藤の花見

▽日時 5月9日(水)

▽参加費 2000円

▽締切 5月7日(月)



大分支部 うたごえサロン

▽日時 5月22日(火) 13時～15時

▽会場 カラオケLAGULAGU

大分市府内町3-7-7

▽参加費 600円 ▽締切 5月20日(日)

大分支部 功德院界限散策

▽日時 6月22日(金)

▽集合 JR大分駅10時30分集合

▽参加費 700円(飲食代)

▽締切 6月20日(水)



ニュージーランド 撒骨の旅

日程 12月9日(日)～15日(土)

旅費 35万円(予定)

恒例のニュージーランド撒骨の旅。本年も、谷田貝光克先生(東京大学名誉教授、香りの図書館館長)、谷本丈夫先生(宇都宮大学名誉教授、牧野植物同好会会長)にご案内いただきます。



9日	東京(成田) 18:30 発	第一ターミナル 16:30 集合 オークランドへ
10日	オークランド～ クライストチャーチ泊	リトルトン港で撒骨 ローズガーデン見学
11日	クライストチャーチ～ マウントクック:ハーミテ ージ泊	テカポ湖散策
12日	マウントクック:ハーミテ ージ泊	マウントクック国立公園 観光
13日	マウントクック～ 北島のいずれか泊	北島:オークランドへ移動
14日	北島のいずれか～ オークランド泊	観光
15日	オークランド～ 東京(成田) 16:55 着	通関後解散

※スケジュールは変更になる場合があります

しいたけのコマ打ちと 香りの教室 in吉四六村 5月8日(火)

千葉県富津市の吉四六村で、しいたけのコマ打ち、エッセンシャルオイル抽出体験、バーベキューを楽しみましょう。松島如戒村長お手製の天ぷらも、お召し上がりいただけます!



谷田貝先生

谷本先生



講 師: 谷田貝光克 先生

(香りの図書館館長、東京大学名誉教授)

講 師: 谷本丈夫 先生

(牧野植物同好会会長、宇都宮大学名誉教授)

集 合: 8時50分 北の丸ガラスゲート1階

貸し切りバスで9時出発、17時解散予定

参加費: 5,000円(交通費・昼食代含む)

定 員: 25名程度 ※定員になり次第、締め切り

第106回 日本水彩展 鑑賞会 6月8日(金)

りす倶楽部の表紙画でおなじみ、弁護士・日本水彩画会会員の福井大海先生にご案内いただく恒例の『日本水彩展 鑑賞会』を開催します。鑑賞会後、福井先生を交えての食事をを行います。

会 場: 東京都美術館(上野)

美術館正門前 10時集合

食事会会場: 上野精養軒

会 費: 3,000円(入場料・昼食代)

※定員になり次第、締め切りいたします



福井先生

地方巡回展 鑑賞会&お茶会

13:00 開始(予定)

仙台展 7月 1日(日)

神戸展 7月 16日(月・祝)

広島展 8月 12日(日)

松山展 9月 9日(日)

熊本展 10月 7日(日)

会場: 仙台メディアテーク

会場: 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー

会場: 福屋八丁堀本店

会場: 愛媛県美術館

会場: 熊本県立美術館 本館



支部



活動記

北海道支部

▼ケアハウスへの入居申込み時に、身元引受保証人を頼める人がいないと施設に相談したNさん（66歳・男性）。施設の担当者からりすシステムを紹介され、札幌にある北海道支部の説明会に参加し、さっそく契約手続きを進めることになりました。

順番待ちのため、ケアハウス入所まで時間があつたので、その間に契約手続きを進めて公正証書作成を完了、その後、入所の順番が来て入所しました。Nさんは先日引越され、新しい生活をスタートしています。

▼不動産会社のすすめで、賃貸住宅の連帯保証人を保証会社に依頼したAさん（51歳・女性）。

緊急連絡先にりすシステムを指定したところ、保証会社から「緊急連絡先は個人でなければならぬ規約です」と言われ、不動産会

社に相談しました。不動産会社の担当者は「個人より、りすシステムのような法人が契約内容から見ても安心なはず」と、別の保証会社を紹介してくれました。

Aさんはその保証会社を利用し、緊急連絡先にりすシステムを指定、先日引越しを済ませました。

北日本支部

▼自身での財産管理が困難になり、6年前からりすシステムが任意後見人となって、家庭裁判所と任意後見監督人の監督のもとでサポートをつづけてきたIさん（85歳・男性）が、10月初旬に体調を崩し緊急搬送されました。

そこからわずか2週間の間に「急性期の病院では治療がない」「腎臓の治療が必要かと思つて精密検査をしたが治療することはない」などの理由で2回の転院を余儀なくされ、ようやく10月下旬に

長期療養型のT病院に落ち着きました。りすシステムは任意後見人として、Iさん本人に代わり、入院・検査・転院関係の申込、同意、保証、支払等を行いました。

その間、これまでIさんが居住していた有料老人ホームでは、Iさんが退院したとしても看取りを前提とした介護は提供できないとのことでしたので、りすシステムが任意後見人として退去手続きを行い、病院への入院費支払との二重払いの状況を解消しました。

長期療養型T病院に転院して5ヶ月、Iさんは病院側が思つていた以上に回復し、退院できることとなりました。以前居住していた老人ホームは既に解約済みでしたが、りすシステムは任意後見人として本人を代理する権限を有していますので、介護保険を使って対応してくれるケアマネージャーを依頼し、病院側の相談員とも打合せを重ね、Iさんの財産状況を勘案して、どうにか年金収入の範囲内での生活ができるよう、まずはショートステイ先を見つけ、お世

話になるという道筋をつけることができました。

Iさんのように、心身の状況が悪化して、何も判断することができない状況になったとしても、りすシステムが任意後見人になれば、財産状況・収支状況を把握した上で、ご本人が不安なく穏やかに生活していけるよう、すべてご本人に代わつて手続を行つていくことができます。



東日本支部

▼「Tさん（92歳・男性）」と、奥さん（90歳）の保証人をお願いしたい。ついでには生前契約の出張説明をして欲しい」。Tさん夫妻が入居している施設から依頼があつたのは、1年半ほど前のことでした。保証人の甥御さんは遠方に住んでおり、非常時にすぐ来られないため、りすに保証人になつてもいいとの希望でした。

当日はTさん、認知症の症状のある奥さん、甥御さん夫妻、施設

スタッフで話し合い、Tさん、奥さんともに、りすが身元引受保証人となる「総合保証パック」を契約することになりました。後日、公証人に出張してもらい、公正証書契約を結びました。

Tさん夫妻には、障害があり入院中の娘さん（62歳）がいて、娘さんの今後についても相談がありました。その後娘さんとも契約し、りすシステムの契約と同時に病院を退院して、両親とは別の施設に入居することになりました。

以前一家が住んでいた築40年超の自宅は空き家のまま放置され、庭も荒れていました。心配したご近所の方が業者を紹介してくれ、庭木の伐採等を行いました。屋内には荷物や廃棄物が大量に残されたままで、りすと整理業者8名のスタッフで処分しました。

もう住むことはないものの、思いついたままの家を手放したくはないとの希望で売却はせず、安全のためセムの警備システムを入れ、火災保険の契約をしました。現在、定期的に訪問して

屋内を点検し、庭の草木の手入れなどを行っています。近隣の方のご理解もあり、今のところ空き家のまま現状維持できています。

りすシステムとの契約から半年後、Tさんが亡くなり、相続手続きが始まりました。自宅以外にもTさん名義の別荘が空き家のまま長期間放置され、獣害や老朽化等の問題が生じていました。現在、りすネット不動産事業部で売却手続中です。

思いついたある自宅や別荘を手放すのはつらいことですが、手放さないのであれば、その後の維持・管理についての対策が必要です。売却しようとなった時には老朽化が進み、買い手が見つからないことも多くなっています。

現在、全国的に空き家の対応がない不動産を所有している方は、早めの対応が必要です。りすシステムでは毎月20日、東日本支部で「暮らしのよろず相談会」を開催しており、専門のスタッフが無料で相談をお受けします（本誌8

ページ参照）。それ以外の支部でも、まずはアドバイザーにご相談ください。



中部日本支部

▼Yさん（90歳・女性）のケアマネージャーから「Yさんの体調が悪化して食欲もなく、大好きなみかんも食べません。診療所で受診し、今のところ治療の必要はないとのことではシヨートステイ中ですが、家に帰りたいと言っています」との連絡が入りました。

1人暮らしのYさんはりすシステムとの契約前に「看護小規模多機能型居宅介護※」サービスを提供している事業所と契約しており、そこで「通い（デイサービス）」や「訪問（訪問介護・看護）」を利用中で、誰かが毎日自宅を訪問するケアプランが組まれていました。りす担当者も定期的にYさん宅を訪問していますが、最近ベッドで過ごすことが多く、認知

症の疑いもあり、1人暮らしが困難になってきていました。

「家が一番です」とおっしゃるYさんに、いきなり見知らぬ施設への入居を進めるわけにもいきません。診療所の医師、看護師、ケアマネ、りすで検討した結果、自宅は手放さず、利用中の「通い」や「泊まり（シヨートステイ）」の事業所に隣接している、介護付有料老人ホームと契約しました。

現在は自宅と施設を行ったり来たりの暮らしですが、Yさんが無理なく施設の生活に馴染めるよう、後見の申立ても視野に入れサポートを続けています。

※看護小規模多機能型居宅介護

利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「泊まり」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提

供を受けることができる制度です。

ケアプランの作成からサービスの提供まで同じ事業所が行うため、利用者とスタッフ、また利用者同士が顔見知りとなり、環境の変化に敏感な高齢者にとって、大きな安心感に繋がると言われています。

要支援1・2の人は利用できません。



西日本支部

▼訪問介護を受けながら自宅で生活していたSさん（83歳・女性）が救急搬送され、1週間後に亡くなりました。

Sさんが納骨を希望していたお寺に連絡したところ「墓守、管理者がいらないなら、S家のお墓を改葬し、合葬墓へ移っていただくことになります。石碑の移動など墓石店への支払も必要になってきます」とのことで、費用の支払いには、りすシステムへの預託金だけでは不足していました。

Sさんは財産の遺言を作成していたので弁護士に相談し、個人財産から費用を支払い、先日納骨を済ませました。

今回、お世話になった住職から「檀家で一人暮らしの方も多いので、必要な方にりすシステムを紹介したい」との申し出があり、資料をお預けしました。

▼施設で暮らしていたCさん（91歳・女性）が亡くなり、納骨先として企画書に記されていたお寺に連絡しました。

しかしCさんが懇意にしていた住職は既に代替りしており、現住職から「Cさんのことは聞いていません。お墓の所在も不明です。しかし、本人がこちらの寺への納骨を希望しているのであれば、永代供養することは可能です。位牌の供養も必要なら別途費用がかかります」との説明があり、費用も高額になるとのことでしたが、企画書にはお布施額の記載しかありませんでした。

Cさんには法定相続人がおらず、遺言も作成していなかったの

で、その対応を日頃からお世話になっていた弁護士に相談したところ、「個人財産から費用を支払うためには相続人調査から始めることとなります」とのこと、かなりの時間を要することがわかりました。

現在、費用のことも含めお寺と話し合いをしています。引き続きお墓の所在を探してもらっています。

ご希望のお寺に確実に納骨するために、納骨先として指定したお寺から承諾書をもらっておくことが大切です。りすシステムで承諾書をお預かりしますので、必要な時にはお寺に提出いたします。



中国支部

▼りす倶楽部3月号(第259号)で紹介したMさん（88歳・女性）のその後です。

「自宅マンションでの一人暮らしが怖くなってきたので施設に入

りたい」との依頼で、転居先を探していたMさん。要支援1でまだまだお元気なMさんには、自由度の高いケアハウスがいいだろうと、2泊3日の体験入居をするようになりました。

ところがこの体験入居中にMさんが体調を崩し、帰宅予定日に血圧が上昇。施設から、「体験入居の延長をしたほうがよいのでは」との連絡が入りました。Mさんにお電話したところ、「このまま入居したい」とのことだったので、急遽、入居手続きと引越しの準備を進め、先日施設へ転居しました。自宅は売却することにしたので、りすネット不動産事業で売却の手続きを進めています。

Mさんが入居したケアハウスには、以前りすシステムの利用者が住んでいたことで、スタッフの皆さんもりすのことを知っており、入居手続きなどがスムーズに進みました。スタッフによると、現在、Mさんの体調は安定しており、施設の行事にも積極的に参加しているそうで、一安心しています。

九州支部

▼りすシステムとの契約当初、マンションや一戸建の不動産を所有したまま、食事付き高齢者マンションで暮らしていたKさん（79歳・女性）は、お気に入りのケアハウスへ入居申込みをして、順番を待っていました。

待つこと約3年のケアハウスに入居出来たKさんは、市内中心部で利便性が良く自由な環境のもと楽しく暮らしていましたが、入居後6年が経過した頃、圧迫骨折を数回繰り返したことが原因で、自立から要介護2となりました。

Kさんが入居しているケアハウスは、特定施設入居者生活介護の指定を受けていないので、他の施設に転居することになり、Kさん、施設スタッフ、りすシステムで話し合っ、市内の介護付有料老人ホームを数か所ピックアップし、見学しました。

入居一時金や毎月の利用料は、Kさんの資産状況から問題ありませんでしたが、施設の全体的な雰

囲気がKさんに合わず、さらに他を探すことになりました。

1ヶ月後、Kさんが自室で転倒し救急搬送されました。肋骨2本を骨折し約2ヶ月の入院が必要となり、現在リハビリ中です。

施設選びの際、そこが終の棲家となり得るか否か、慎重に検討していきますが、施設入居時は自立出来ていても、時間の経過とともに状態が変化し、転居の必要が生じることもあります。

りすシステムは契約家族として、今後もKさんが快適に暮らしていただけるようサポートを続けます。

大分支部

▼Tさん（74歳・男性）から「私の住所を知らないはずの弟から手紙が届いた。兄弟とは縁を切っているつもりなのにおかしい。開封するにあたり、りすシステムに立ち会ってほしい」との依頼がありました。

Tさんとお会いして一緒に開封した手紙には、「姉Y子死亡」「相

続の件」とだけ書かれていました。やはりこの件には一切関わりたくないというTさんの意向で、りすシステムから弟さんに宛て、詳細を知りたい旨を記した文書をTさんの委任状を添付して送付しました。

数日後、弟さんから「Y子（姉）の遺産は〇司法書士事務所にお願

いしている…」などと書かれた手紙がりすシステム宛に届き、司法書士事務所からも「遺産分割協議証明書」が届きました。

すぐにTさんに送付すると、Tさんは「私は遺産がほしいのではなく、兄弟に対する強い不信感があり、関係を断ちたい。この件を長引かせたくない」ということで、相続放棄申述書を関係裁判所に提出、受理されました。

今回のことでTさんは、「自分の意思をはっきりと遺言で残したい」と言われ、公証人の先生とも相談し、遺言公正証書作成の準備をしています。

直しがしたい」との依頼があり、公証役場での相談の場に同席しました。特に問題はないとのこと、Rさんも安心されましたが、遺贈する相手の人が、自分よりも先に亡くなっていた場合の代わりの遺贈先を指定しておきたい（＝予備的遺言※）ということで、関係書類をそろえるなど準備中です。

※予備的遺言

将来状況が変わった時（相続させる・遺贈する相手が自分より先に死亡する等）、遺言が無効になったり争いになったりすることを避けるため、あらかじめその事態を想定した補充規定を遺言に盛り込んでおくこと。状況が変わった時点で遺言の書き換えをすることもできますが、認知症等で遺言する能力が失われていたり、書き換えでさらに費用もかかったりする、予備的遺言をしておくことをお勧めします。





りす友 おたより 紹介コーナー



りす俱樂部の松島相談役の筆の冴えには、毎回感銘を受けております。会報二五七号「新しい年のはじめに想うこと」を拝読し、日本の現状に怒りと懸念を抱いておられ、よくぞお書き下さったと思いました。

昭和一桁生まれの私は、第二次世界大戦の戦火を潜り抜け、悲惨さを嫌というほど味わった者として、今はその世代も少なくなりましたが、松島相談役とまったく同じ思いです。

今や、安倍政権下改憲し、自衛隊を繰り入れるとは、限りなく戦争へのきな臭さを感じ、国民の後世にまで付けを回し、行く先々で大盤振る舞いしている事に、年金から天引きで納税している高齢者には、腹の立つ思いです。

政界は戦争を知らない世代になり、その上、ご意見番の重鎮は引退や他界で歯止めが掛らず、若い先短い私でも、どうなるか目の離せない気持ちです。

あの戦争がなかったら、今、騒がれている少子化による「人口推移の図表」も緩やかなカーブを表わすであろうと思います。

第二次世界大戦では、三百万余の若い尊い命が戦場の露と消え、さぞ無念であつた事と思います。

日本の立場としては、戦後、平和憲法九条を手にしたとはいえ、日本各地に一二八の米軍基地と、米兵三万人とも言われていますが、それを思いやり予算とやらで援護しているだけで充分ではと浅はかな考えの私は思うのです。

米軍が駐在する事により、抑止力になると言われていますが、それが裏目に出る事のないよう祈るばかりです。未だに沖縄の現状はあの有り様です。

今後共、松島相談役におかれましては、健康に留意され、執筆をお続け下さいますよう、お祈りしております。

進藤光江様（東京都）より

賞状

秀作

第十九回NHK全国俳句大会
夏井いつき選

母の怒りのごとき香や金木犀

岡村 一道様

あなたはNHK全国俳句大会において
頭書の成績を取られましたので
これを賞します

平成三十年二月二十一日

NHK会長

上田良一

NHK学園理事長 浜田泰人



岡村 一道様（東京都）より

皆さんの暮らしの中での出来事、りすシステムを利用
しての感想など、お便り、お写真等お待ちしております

お詫びと訂正

本誌第259号（2018年3月号）の巻頭ページの記述について、一部文字起こしの際に不手際がありました。読者の方から、「フレイル」という英語はありません」という部分に対し、「フレイル (Frail)」という形容詞の英語があるので不適切ではないか」とのご指摘でした。

筆者は、今後健康寿命を延ばす運動のテーマとして、「フレイルティ (Frailty)」という名詞をそのまま使うのは語呂が良くないので、「フレイル」という用語を造語した旨のご発言でした。

編集部の整理段階で不手際がありましたことを、お詫びいたします。



地球に恩返しTシャツ・ポロシャツ



カラフルでかわいいロゴ付きの〈特製Tシャツ・ポロシャツ〉です。お買い上げ金額の一部を、りすシステムから「地球に恩返し基金」へ寄附いたします。ご協力よろしくお願いいたします。通信販売も承ります。ご希望の方は0120-889-443までご連絡下さい。

Tシャツ

■定価：2,000円（税・送料込み） ■サイズ：S・M・L
■カラー：ホワイト・ピンク・イエロー・ライトグリーン・ライトブルー

ポロシャツ

■定価：2,500円（税・送料込み） ■サイズ：S・M・L・LL・3L
■カラー：ピンク・ネイビーブルー

新しくできました！



地球に恩返し運動について

私たちの生命を育ててくれている地球!! このやさしい地球に少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。皆さまのご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板にあなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の方は「ペンネーム」を明記の上、「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。

NPO りすシステム
NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構

地球に恩返し運動本部

連絡先：TEL.03-5215-2383



地球に恩返し 基金振込先

● 郵便局から振り込む場合

郵便局口座番号：00140-7-743432
加入者：地球に恩返し基金

● 他行からゆうちょ銀行に振込む場合

店名：〇一九（ゼロイチキュウ）
種目：当座 口座番号：0743432
加入者：地球に恩返し基金



「地球に恩返し基金」に寄附をいただき、ありがとうございました

安城 克子さん (大阪府松原市)	永堀 和代さん (埼玉県ふじみ野市)	村上 松雄さん (東京都北区)
泉 桂さん (千葉県柏市)	成田 喜栄吉さん (埼玉県川口市)	村上 俊子さん (東京都北区)
小長谷 静枝さん (東京都板橋区)	西村 稔さん (東京都豊島区)	吉川 繁子さん (埼玉県草加市)
佐野 信子さん (東京都豊島区)	堀井 翠さん (東京都渋谷区)	
清水 洋太郎さん (東京都中野区)	真鍋 昌代さん (東京都豊島区)	

匿名2名 50音順

3月30日開催のお花見（ホテル椿山荘東京）ご参加の皆さんから、計13,800円の寄附をいただきました。



※2018年3月1日～3月31日の期間、15名の方から寄附をいただきました。
※堀井 翠さんが1000ポイントを達成されました。

●なんでも談話室●

◎なんでも談話室は、開催時間中ならいつでも自由に参加できます。

北海道支部	日時：5月6日(日) 11時～15時 日時：6月6日(水) 11時～15時	会場：北海道支部事務所 会場：北海道支部事務所
北日本支部	日時：5月30日(水) 11時～15時 日時：6月30日(土) 11時～15時	会場：北日本支部事務所 会場：北日本支部事務所
東日本支部	日時：5月21日(月) 11時～15時 日時：6月19日(火) 11時～15時	会場：北の丸ガラスゲート1階 会場：北の丸ガラスゲート1階
中部日本支部	日時：5月10日(木) 13時～15時 日時：6月10日(日) 13時～15時	会場：中部日本支部事務所 1211号室 会場：中部日本支部事務所 1211号室
中国支部	日時：5月5日(土) 13時～15時 日時：6月2日(土) 13時～15時	会場：中国支部事務所 会場：中国支部事務所
四国支部	日時：5月25日(金) 13時～15時 日時：6月25日(月) 13時～15時	会場：四国支部事務所 会場：四国支部事務所
九州支部	日時：5月29日(火) 13時～15時 日時：6月29日(金) 13時～15時	会場：九州支部事務所 会場：九州支部事務所
大分支部	※5月22日(火)はうたごえサロンです。詳しくは8ページのお知らせを参照ください ※6月22日(金)は功德院界限散策です。詳しくは8ページのお知らせを参照ください	

●談話サロン●

西日本支部	日時：5月23日(水)、6月23日(土) 詳しくは8ページのお知らせを参照ください
-------	---

●生前契約説明会・ステップアップ相談会●

支部	電話番号	生前契約説明会		ステップアップ相談会	
北海道支部	011-756-4165	5日(1月休み)	13:30～15:00	随時開催	
北日本支部	022-797-2072	2日(1月休み)	13:30～15:00	随時開催	
東日本支部 10、15日：九段下 24日：巣鴨 5月8日、6月4日：横浜	0120-889-443 03-3511-3277	10日	11:00～13:00 14:30～16:30	15日	11:00～12:30 14:30～16:00
		24日(3・9月休み)	13:00～15:00		
		5月8日、6月4日	10:30～12:30		
中部日本支部	052-569-2254	25日	13:00～15:00	随時開催	
西日本支部	06-6809-2289	7日	10:30～12:00 14:00～15:30	26日	10:30～12:00 14:00～15:30
中国支部	082-568-1585	28日	10:30～12:00	随時開催	
四国支部	089-933-5670	25日	10:00～12:00	随時開催	
九州支部	092-738-2718	24日	13:30～15:00	随時開催	
大分支部	097-538-6263	27日	13:30～15:00	随時開催	

例会・見学会・談話サロン・法律相談のお申込み先

 0120-889-443

生活支援テレホン

 0120-332-206

24時間365日いつでも りすセンター 新木場

 0120-373-959 (海外からご利用の場合) +81-3-3522-5660